

三木市記者発表資料 (令和5年1月31日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-82-2000 (内線 2414)

タイトル	
昨年の兵庫県広報コンクールにつづき入賞 「広報みき」が近畿市町広報紙コンクールで優秀賞2席を受賞	
内容	
<p>第34回近畿市町広報紙コンクール（毎日新聞社・毎日文化センター主催）において、「広報みき 2022年10月号」が優秀賞に選ばれました。なお、三木市の受賞は第25回以来9年ぶり※となります（第25回は奨励賞で、優秀賞は過去最高の賞となる）。</p>	
<p>1 受賞作品</p>	<p>広報みき 2022年10月号</p>
<p>2 受賞</p>	<p>優秀賞2席</p>
<p>3 応募数等</p>	<p>応募数82件 入賞数27件</p>
<p>4 主な記事の掲載意図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「こんなところにも三木金物～時代、地域を越えて～」では、日本を代表する大工職人や播州三木打刃物の伝統工芸士をはじめとする三木金物に関わる多くの方に協力をいただき「日本の美」を絶やさぬ熱い想いを掲載し、市民も知らない三木金物の魅力が伝わることを意識した。 ・裏面（P36）の三木市の魅力紹介コーナー「みきのええトコ」では、三木市吉川町出身で前衛書道のパイオニアと言われている上田桑鳩を紹介。令和4年4月に親族から寄贈された桑鳩の作品や愛用品の特別企画展を紹介するなど、郷土が生んだ偉大な書道家について広く周知した。
<p>5 審査講評 (全体講評から抜粋)</p>	<p>三木金物を知ってもらおうという特集の狙いははっきりしていて、中身が濃い特集になっている。表紙の写真、錦帯橋の下からの写真は目をひく。2ページの写真が3ページに少しはみ出し、懸け橋になっていて、テクニックを感じる。</p>
セールスポイント	
<p>平成31（令和元）年度から人に焦点を当てた情報の充実に取り組み、令和3年11月から広報アドバイザーとともにさらなる充実を図ってきた。</p> <p>令和2年度に読みやすさの向上を目的に、印刷以外の製作を市役所内で行う「広報紙の内製化」に取り組んでいる。今後も広報みきを通して、市への誇りや愛着を感じてもらえるよう、さらなる充実を図っていきます。</p>	

